環境経営レポート(第14版)

竣工写真
東下田川砂防堰堤新設（5期）工事

株式会社　藤本建設工業

熊本県阿蘇郡南阿蘇村大字河陽3377－1

令和　5年　9月　1日作成（取組開始期間：平成21年度（2009年）～　）

（取りまとめ期間：令和4年8月～令和5年7月）

目　　次

1．事業概要 ･････････････････････････････　3 頁

2．環境経営方針 ･････････････････････････　5 頁

3．実施体制 ･････････････････････････････　6 頁

4．環境経営目標 ･････････････････････････　7 頁

5．主な環境活動計画と実施状況 ･･････････････　9 頁

6．環境活動の実績 ･･････････････････････････　12 頁

7．実績評価と今後の取組 ･････････････････････　18 頁

8．環境関連法令等の遵守状況 ･････････････････　21 頁

9．代表者による全体の評価見直し ･････････････　22 頁

1.　事業概要等

（1）　事業所名及び代表者名

株式会社　藤本建設工業

代表取締役　藤本　憲成

（2）　法人設立年月日　：昭和30年　9月18日

（3）　所在地

本　社　　〒869－1404
熊本県阿蘇郡南阿蘇村大字河陽3377－1
TEL:0967(67)0138　　FAX:0967(67)1647

藤本リサイクル工場

熊本県阿蘇郡南阿蘇村大字長野字湯尻2444-1, 2444-2

資材置き場

熊本県阿蘇郡南阿蘇村大字河陽3399

（4）　事業内容

・特定建設業　　熊本県知事　許可（特－3）　第1993号

土木工事業　　とび・土工工事業　　舗装工事業
水道施設工事業

・一般建設業　　熊本県知事　許可（般－3）　第1993号

建築工事業　　電気工事業　　管工事業
防水工事業　　造園工事業

・産業廃棄物中間処理業

・産業廃棄物処分業許可番号　第04320046555号
種類：中間処理業（木くず）
許 可 年 月 日 ： 平成28年　5月17日
許可有効期限： 令和　8年　5月　8日

・産業廃棄物収集運搬業許可番号　第04300046555号
運搬車両

1	熊本　100　ら　　24	7	熊本　400　に　6763
2	熊本　100　さ　4743	8	熊本　100　そ　4717
3	熊本　100　せ　2836	9	熊本　130　ほ　　25
4	熊本　100　せ　8383	10	熊本　130　は　　30
5	熊本　130　に　　27	11	熊本　130　に　　26
6	熊本　100　は　4830		

許可年月日　：平成　9年　3月14日
許可有効期限：令和　9年　3月13日
取り扱い産業廃棄物の種類
木くず、金属くず、ゴムくず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
がれき類、廃プラスチック類、燃え殻、汚泥（以上、石綿含有産業廃棄物で
あるものを含み、自動車等破砕物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く）

保管施設　　面積　　365.8m2　　面積　　142．5㎡
施設容量　　914.5m3　　施設容量748m3

処理施設の種類・能力
機械　　ﾋﾞｰｽﾄ3680型　処理能力　200t／日
機械　　ｳｯﾄﾞﾎｸﾞ2600TRACK　処理能力　127.2t／日
機械　　ﾎﾘｿﾞﾝﾀﾙｸﾞﾗｲﾝﾀﾞｰHG4000TXⅡ　処理能力　　209.6t/日
機械　　ﾛｺﾄﾗｯｸLT96S　処理能力　　2,592t/日（がれき類の破砕機）

（5） 事業規模

	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
完成工事高	百万円	2,109	2,126	2,024	2,610
産廃処理量（木くず）	t	10,526	4,804	2,400	2,506
二酸化炭素排出量	kg-CO2	593,292	1,207,971	711,395	657,720
資本金	千円	21,000	21,000	21,000	21,000
従業員	人	50	45	42	44

（6） 環境保全責任者

環境管理責任者　　北野　吉徳

事務所担当責任者　　牧本　恭典
現場担当責任者　　北野　吉徳

リサイクル工場　　現場管理責任者　　藤本　憲成
現場担当責任者　　藤本　正生

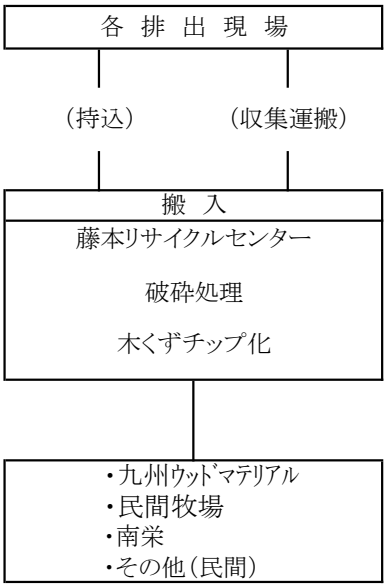
エコアクション担当者名　　牧本　恭典 ・ 藤本　幸子 ・ 長友　健 ・ 大津　若菜 ・ 峰　智子

連絡先 ： TEL:0967(67)0138　FAX:0967(67)1647

（7） 事業年度（67期）

期首 ： 8月　　期末 ： 7月

（8） 受託した産業廃棄物（廃木材）処理工程図



※令和4年度「産業廃棄物収集運搬」実績
1869.14t

2.　環境経営方針

1. 環境経営方針

私たちは、ますます深刻化する地球温暖化や今後予想される資源の枯渇への対応が人類共通の重要課題との認識に立ち、建設工事の施工及び付帯サービスにおいて、環境経営システムを構築・実行し、環境活動を積極的に展開し、継続的に改善し循環型社会に貢献していく。

2. 活動項目

1.　電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減を計る。
2.　水資源の有効活用の為、節水と水質汚濁防止に取り組む。
3.　廃棄物の発生抑制、削減、リサイクルの促進に取り組む。
4.　環境関連法規を遵守し、環境配慮活動等（SDGs）に取り組む。
5.　環境方針は、全従業員に周知徹底し、社外に公表する。
6.　化学物質の適正管理の取り組み。

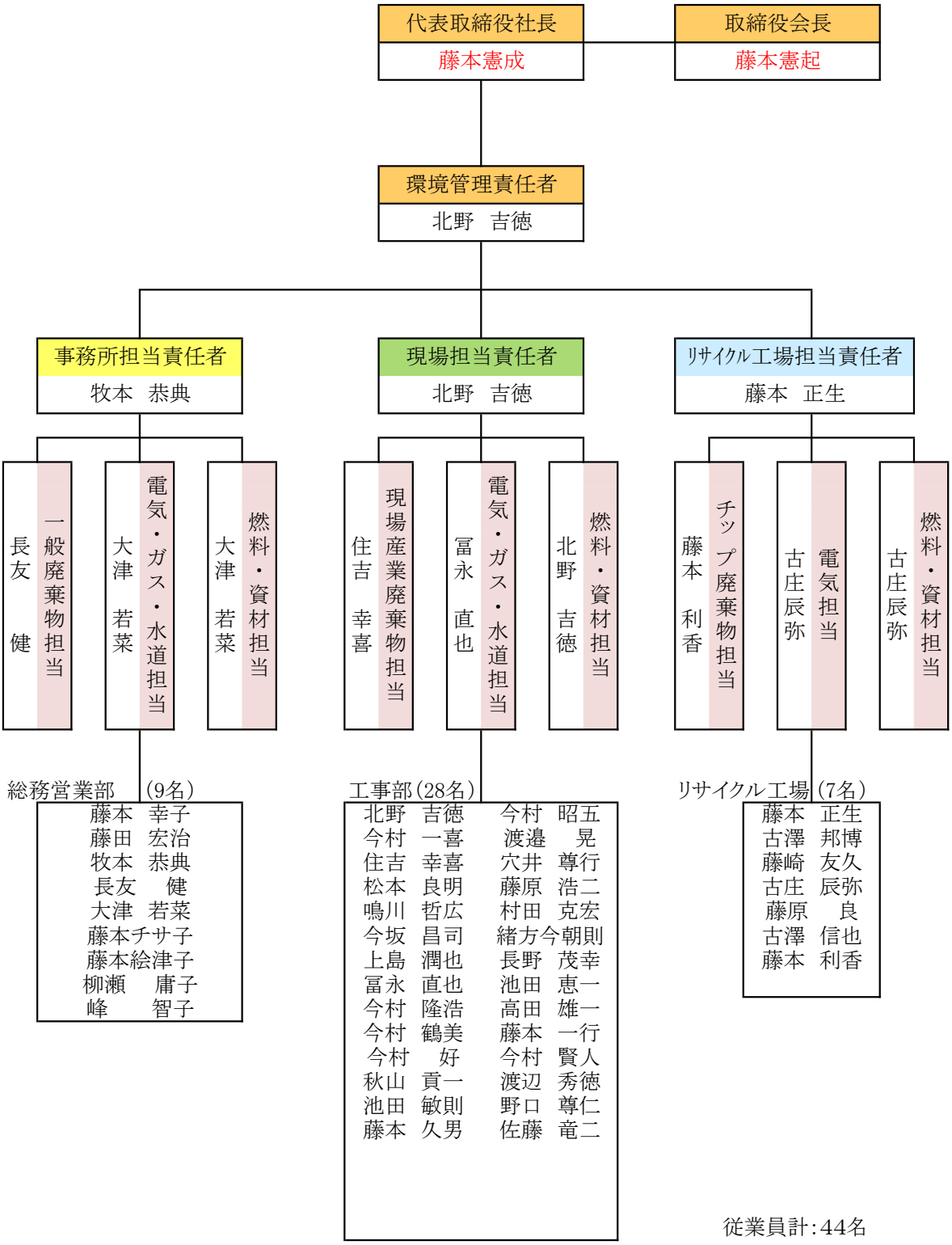
平成21年12月　1日　制定
平成22年10月　1日　改定
平成24年　9月　1日　改定
平成25年10月　1日　改定
平成29年　8月　1日　改定（社長就任による改定）
令和　5年　9月　1日　改定

株式会社　藤本建設工業
　代表取締役　　藤本　憲成

令和5年7月31日現在

3.　実施体制

環境保全活動を推進するため、下記の体制を実施します。



4.　環境経営目標

会社全体		年度	基準年度	目　　標					
項　目		単位	平成26年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				H26の-6%	H26の-7%	H26の-8%	H26の-9%	H26の-10%	H26の-11%
1	二酸化炭素排出量(総計)	kg-CO_2	912,124	857,397	848,275	839,154	830,033	820,912	811,790
2	完成工事高当たり	kg-CO2／百万円	788	741	733	725	717	709	701
3	購入電力	kwh	54,643	51,364	50,818	50,272	49,725	49,179	48,632
4	電力二酸化炭素排出量	kg-CO_2	34,795	32,707	32,359	32,011	31,663	31,316	30,968
5	ガソリン(レギュラー+ハイオク)	L	25,607	24,071	23,815	23,558	23,302	23,046	22,790
6	軽油	L	287,671	270,411	267,534	264,657	261,781	258,904	256,027
7	灯油	L	25,766	24,220	23,962	23,705	23,447	23,189	22,932
8	紙使用量	枚	82,500	77,550	76,725	75,900	75,075	74,250	73,425
9	水資源投入量	m3	77.0	72	72	71	70	69	69

※平成28年度基準の項目

会社全体		年度	基準年度	目　　標					
項　目		単位	平成28年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				H28の-4%	H28の-5%	H28の-6%	H28の-7%	H28の-8%	H28の-9%
11	現場産廃発生量	t	7,468	7,169	7,095	7,020	6,945	6,871	6,796
12	一般廃棄物	kg	850	816	808	799	791	782	774

※令和2年度基準の項目

会社全体		年度	基準年度	目　　標					
項　目		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				R元の1%	R元の2%	R元の3%	R元の4%	R元の5%	R元の6%
13	チップ処理量	t	4,782	4,830	4,878	4,925	4,973	5,021	5,069

現　場		年度	基準年度	目　　標					
項　目		単位	平成26年度	令和　2年度	令和　3年度	令和　4年度	令和　5年度	令和　6年度	令和　7年度
				H26の-6%	H26の-7%	H26の-8%	H26の-9%	H26の-10%	H26の-11%
1	二酸化炭素排出量(総計)	kg-CO_2	743,288	698,691	691,258	683,825	676,392	668,959	661,526
2	完成工事高当たり	kg-CO2／百万円							
3	購入電力	kwh	29,316	27,557	27,264	26,971	26,678	26,384	26,091
4	電力二酸化炭素排出量	kg-CO_2	19,274	18,118	17,925	17,732	17,539	17,347	17,154
5	ガソリン(レギュラー+ハイオク)	L	13,132	12,344	12,213	12,081	11,950	11,819	11,687
6	軽油	L	241,712	227,209	224,792	222,375	219,958	217,541	215,124
7	灯油	L	24,287	22,830	22,587	22,344	22,101	21,858	21,615
8	紙使用量	枚	0						
9	水資源投入量	m3	0.0						
10	ガス(LPG)	kg	0.0						
12	一般廃棄物	kg	0	―	―	―	―	―	―
13	チップ処理量	t	0						

※平成28年度基準の項目

現　場		年度	基準年度	目　　標					
項　目		単位	平成28年度	令和　2年度	令和　3年度	令和　4年度	令和　5年度	令和　6年度	令和　7年度
				H26の-4%	H26の-5%	H26の-6%	H26の-7%	H26の-8%	H26の-9%
11	現場産廃発生量	t	7,468	7,169	7,095	7,020	6,945	6,871	6,796

事務所		年度 / 単位	基準年度	目　　標					
項　目			平成26年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				H26の-6%	H26の-7%	H26の-8%	H26の-9%	H26の-10%	H26の-11%
1	二酸化炭素排出量(総計)	kg-CO_2	51,454	48,367	47,852	47,338	46,823	46,309	45,794
2	完成工事高当たり	kg-CO2／百万円							
3	購入電力	kwh	21,562	20,268	20,053	19,837	19,621	19,406	19,190
4	電力二酸化炭素排出量	kg-CO_2	13,217	12,424	12,292	12,160	12,027	11,895	11,763
5	ガソリン(ﾚｷﾞｭﾗｰ+ﾊｲｵｸ)	L	12,385	11,642	11,518	11,394	11,270	11,147	11,023
6	軽油	L	2,503	2,353	2,328	2,303	2,278	2,253	2,228
7	灯油	L	1,149	1,080	1,069	1,057	1,046	1,034	1,023
8	紙使用量	枚	82,500	77,550	76,725	75,900	75,075	74,250	73,425
9	水資源投入量	m3	77.0	72.4	71.6	70.8	70.1	69.3	68.5
10	ガス(LPG)	kg	15.9	14.9	14.8	14.6	14.5	14.3	14.2
11	現場産廃発生量	t	0	－	－	－	－	－	－
12	一般廃棄物	kg	0	－	－	－	－	－	－
13	チップ処理量	t	0	－	－	－	－	－	－

※平成元年度基準の項目

事務所		年度 / 単位	基準年度	目　　標					
項　目			平成元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				H元の-1.0%	H元の-2.0%	H元の-3.0%	H元の-4.0%	H元の-5.0%	H元の-6.0%
12	一般廃棄物	kg-CO_2	580	574	568	563	557	551	545

リサイクル工場		年度 / 単位	基準年度	目　　標					
項　目			平成26年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				H26の-6%	H26の-7%	H26の-8%	H26の-9%	H26の-10%	H26の-11%
1	二酸化炭素排出量(総計)	kg-CO_2	117,382	110,339	109,165	107,991	106,818	105,644	104,470
2	完成工事高当たり	kg-CO2／百万円							
3	購入電力	kwh	3,765	3,539	3,501	3,464	3,426	3,389	3,351
4	電力二酸化炭素排出量	kg-CO_2	2,304	2,166	2,143	2,120	2,097	2,074	2,051
5	ガソリン(ﾚｷﾞｭﾗｰ+ﾊｲｵｸ)	L	90	85	84	83	82	81	80
6	軽油	L	43,456	40,849	40,414	39,980	39,545	39,110	38,676
7	灯油	L	330	310	307	304	300	297	294
8	紙使用量	枚	0	－	－	－	－	－	－
9	水資源投入量	m3	0.0	－	－	－	－	－	－
10	ガス(LPG)	kg	0.0	－	－	－	－	－	－
11	現場産廃発生量	t	0	－	－	－	－	－	－
12	一般廃棄物	kg	0	－	－	－	－	－	－

※平成2年度より、リサイクル工場は、令和元年度を基準としてチップ量の増加を目標としていく。

リサイクル工場		年度 / 単位	基準年度	目　　標					
項　目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				R元の+1%	R元の+2%	R元の+3%	R元の+4%	R元の+5%	R元の+6%
13	チップ処理量	t	4,782	4,830	4,878	4,925	4,973	5,021	5,069

5. 主な環境活動計画と実施状況

次の各項目を各部署にて推進し、右欄に実施状況を報告します。

環境活動結果（現場）

燃料・資材担当　北野　吉徳

項　目	取組内容（現場事務所の管理についての配慮）	8月～10月	11月～1月	2月～4月	5月～7月
燃料	・アイドリングストップの徹底	△	△	△	△
	・移動手段の管理（乗り合い）	△	△	△	△
	・排出ガス対応型、低騒音、低振動建設機械の使用	○	○	○	○
	・エコドライブ（急発進・急加速の防止）	○	○	○	○
資材購入	・再生材料の使用、購入	○	○	○	○

※　次年度以降のアイドリングストップの検討を行う。

電気・ガス・水道担当　冨永　直也

項　目	取組内容（現場事務所の管理についての配慮）	8月～10月	11月～1月	2月～4月	5月～7月
電気	・室内温度の適正管理（冷房26度、暖房22度）	△	△	△	△
	・昼休みの消灯、未使用時の消灯	×	×	×	×
	・パソコンの節電モード設定	△	△	△	△

※　次年度以降の未使用時の電気等の消灯の取組の検討を行う。

現場産業廃棄物担当　住吉　幸喜

項　目	取組内容（現場事務所の管理についての配慮）	8月～10月	11月～1月	2月～4月	5月～7月
産業廃棄物	・マニフェストをもとに適正な処理確認	○	○	○	○

※　引続き徹底管理し確認取組を行う。

環境活動結果（事務所）

燃料・資材担当　大津　若菜

項　目	取組内容（事務所の管理についての配慮）	8月～10月	11月～1月	2月～4月	5月～7月
燃料	・アイドリングストップの徹底	△	○	△	○
	・エコドライブ（急発進・急加速等）	○	○	○	○
	・ファンヒーター設定温度の管理	－	○	○	－
事務用品	・リサイクル、エコ、グリーン商品の推進	○	○	○	○
	・裏紙の再利用によりコピー用紙の節約	○	○	○	○
	・事務用品の使用管理	○	○	○	○

※　室内温度の管理に取り組む。

電気・ガス・水道担当　大津　若菜

項　目	取組内容（事務所の管理についての配慮）	8月～10月	11月～1月	2月～4月	5月～7月
電　気	・エアコン・ファンヒーターの温度設定の徹底	△	△	△	△
	・昼休み、外出時の電気消灯	△	△	△	△
	・パソコンの節電モードとし、2時間以上不使用時は切る	△	△	△	△
ガ　ス	・湯沸かしの火の管理	○	○	○	○
水　道	・水道の出しっぱなし、蛇口の締め方の心がけ	○	○	○	○

※　節電取組の徹底。

一般・産業廃棄物担当　長友　健

項　目	取組内容（事務所の管理についての配慮）	8月～10月	11月～1月	2月～4月	5月～7月
一般廃棄物	・廃棄物の削減	○	○	○	○

※　分別作業の実施

環境活動結果(リサイクル工場)

燃料・資材担当　古庄　辰弥

項　目	取組内容(事務所の管理についての配慮)	8月～10月	11月～1月	2月～4月	5月～7月
燃料	・アイドリングストップの徹底	△	△	△	△
	・エコドライブ(急発進・急加速等)	○	○	○	○
灯　油	・室内温度の管理	○	△	△	○

※　エコドライブの徹底を行う。

電気担当　古庄　辰弥

項　目	取組内容(事務所の管理についての配慮)	8月～10月	11月～1月	2月～4月	5月～7月
電　気	・エアコン・ファンヒーターの温度設定の徹底	△	△	△	△
	・昼休み、外出時の電気消灯	○	○	○	○
	・パソコンの節電モードとし、2時間以上不使用時は切る	○	○	○	○

※　室内の温度管理を徹底する。

チップ廃棄物担当　藤本　利香

項　目	取組内容(事務所の管理についての配慮)	8月～10月	11月～1月	2月～4月	5月～7月
チップ産廃	・マニュフェスト伝票等の適正な処理及び管理	○	○	○	○

※　引続き適正な管理を取り組む。

6.　環境活動の実績

現場と事務所と分けて集計をし、過去の実績をもとに環境目標及びその実績と評価をそれぞれ行うものとする。
平成26年基準とし令和3年度目標と比較する。但し、現場排出産廃量は平成28年度実績、一般廃棄物・チップ処理量は、令和元年度実績と比較する。
排出係数　0.453(kg-CO2/kWh)　九州電力2022年度事業者全体のCO2排出係数を引用

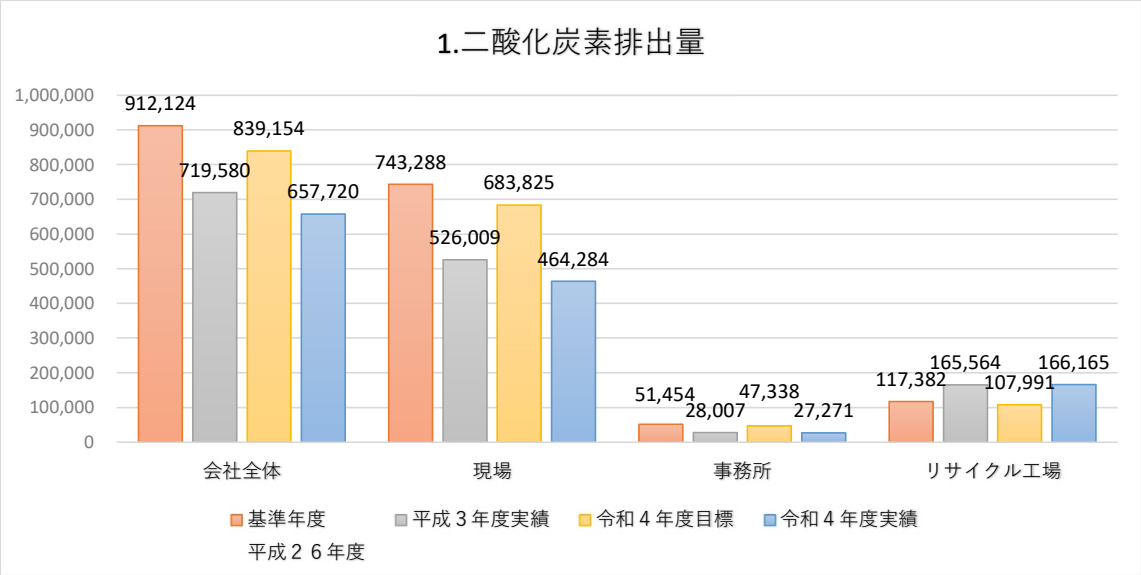
会社全体		年度 / 単位	平成3年度実績	令和4年度目標	令和4年度(令和4.8.1～令和5.7.31)			達成率
項目					上半期 8月～1月	下半期 2月～7月	全体 8月～7月	
1	二酸化炭素排出量	kg-CO2	719,580	839,154	311,509	346,211	657,720	127.6%
2	完成工事高当たり	kg-CO2/百万円	355	725			252	287.7%
3	購入電力	kwh	89,028	50,272	29,515	23,347	52,862	95.1%
4	電力二酸化炭素排出量	kg-CO2	34,810	32,012	13,370	10,576	23,947	133.7%
5	ガソリン(レギュラー+ハイオク)	L	23,600	23,558	12,323	10,956	23,279	101.2%
6	軽油	L	239,878	264,658	100,759	119,689	220,448	120.1%
7	灯油	L	4,460	23,705	3,848	567	4,415	536.9%
8	紙使用量	枚	105,000	75,900	42,500	50,000	92,500	82.1%
9	水資源投入量	m3	48.0	71	29.0	37.0	66.0	107.3%
10	ガス(LPG)	kg	9.4	14.6	2.8	2.9	5.7	256.1%
11	現場排出産廃量	t	1,546	6,871	470	218	688	998.9%
12	一般廃棄物	kg	830	545	870	540	1,410	38.7%
13	チップ処理量	t	2,400	4,925	1,248	1,258	2,506	196.5%

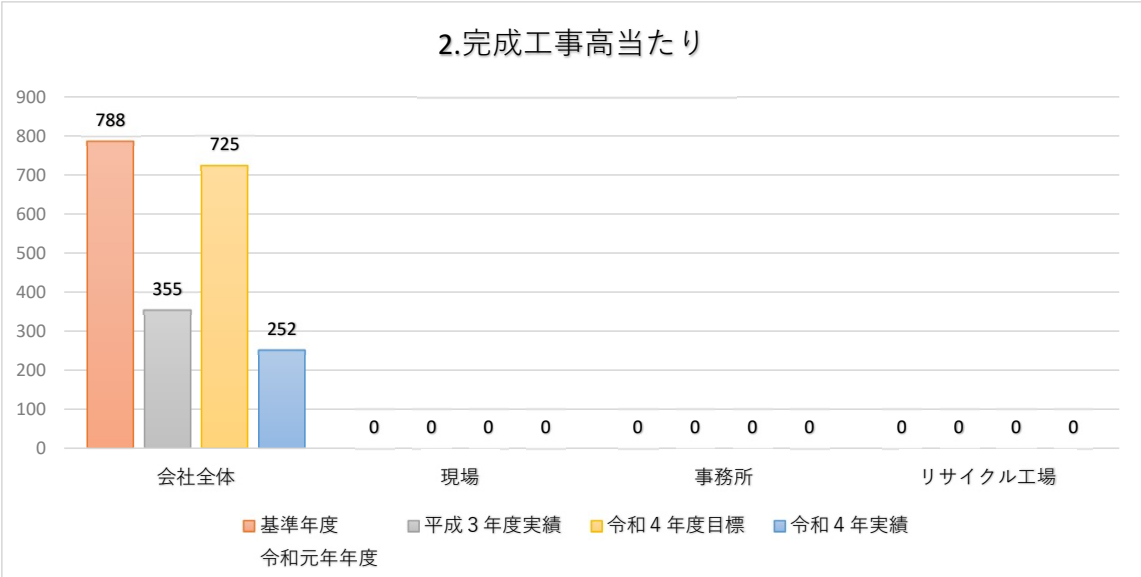
現　場		年度 / 単位	平成3年度実績	令和4年度目標	令和4年度(令和4.8.1～令和5.7.31)			達成率
項目					上半期 8月～1月	下半期 2月～7月	全体 8月～7月	
1	二酸化炭素排出量	kg-CO2	526,009	683,825	215,955	248,329	464,284	147.3%
2	完成工事高当たり	kg-CO2/百万円						
3	購入電力	kwh	66,681	26,971	17,900	14,949	32,849	82.1%
4	電力二酸化炭素排出量	kg-CO2	26,072	17,732	8,109	6,772	14,881	119.2%
5	ガソリン(レギュラー+ハイオク)	L	14,559	12,081	8,034	6,709	14,744	81.9%
6	軽油	L	177,510	222,375	70,325	87,210	157,535	141.2%
7	灯油	L	3,287	22,344	3,120	397	3,517	635.3%
8	紙使用量	枚						
9	水資源投入量	m3	14		24	24	48	
10	ガス(LPG)	kg	0.0		0.0	0.0	0.0	
11	現場排出産廃量	t	1,545.6	6,871	470	217.6	687.9	998.9%
12	一般廃棄物	kg	320.0		500	290	790.0	
13	チップ処理量	t						

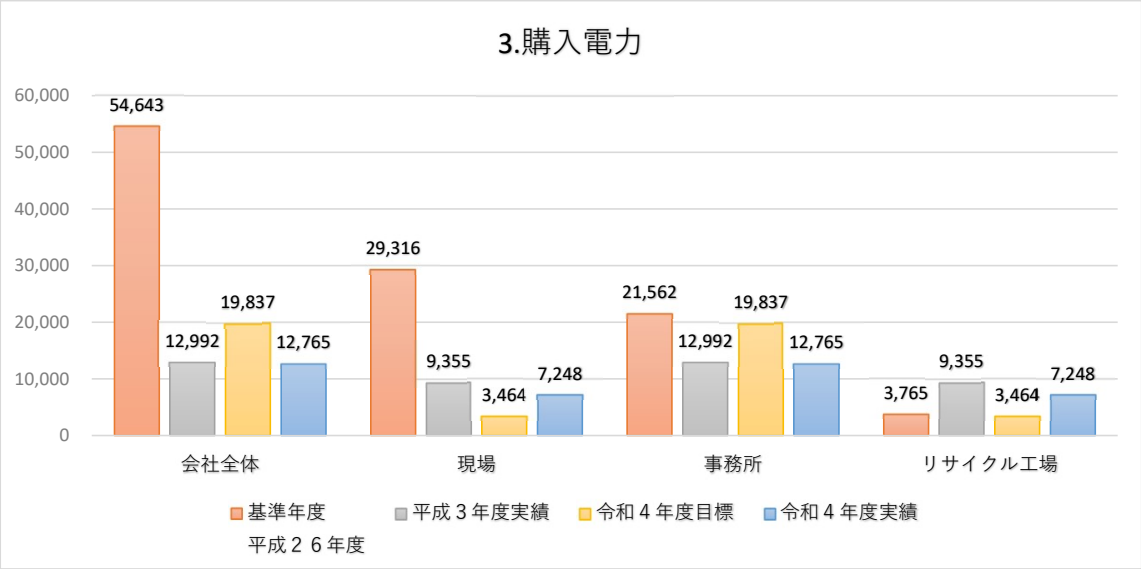
事務所		年度 / 単位	平成3年度実績	令和4年度目標	令和4年度(令和4.8.1～令和5.7.31)			達成率
項目					上半期 8月～1月	下半期 2月～7月	全体 8月～7月	
1	二酸化炭素排出量	kg-CO2	28,007	47,338	14,474	12,796	27,271	173.6%
2	完成工事高当たり	kg-CO2/百万円						
3	購入電力	kwh	12,992	19,837	6,543	6,222	12,765	155.4%
4	電力二酸化炭素排出量	kg-CO2	5,080	12,160	2,964	2,819	5,783	210.3%
5	ガソリン(ガソリン+ハイオク)	L	8,657	11,394	4,266	4,168	8,435	135.1%
6	軽油	L	88	2,303	35	0	35	6580.0%
7	灯油	L	1,039	1,057	608	120	728	145.2%
8	紙使用量(事務所＋現場)	枚	105,000	75,900	42,500	50,000	92,500	82.1%
9	水資源投入量	m3	34	70.8	5.0	13.0	18	393.3%
10	ガス(LPG)	kg	9.4	14.6	2.8	2.9	5.7	256.1%
11	現場排出産廃量	t						
12	一般廃棄物	kg	510	545	370	250	620	87.9%
13	チップ処理量	t						

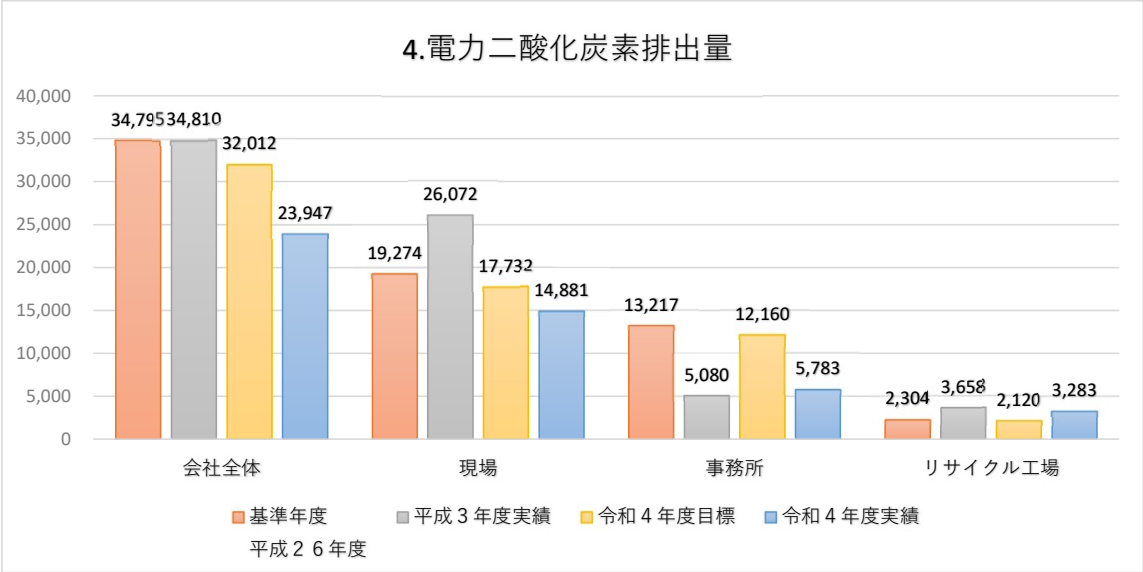
排出係数　0.453(kg-CO2/kWh)　九州電力2022年度事業者全体のCO2排出係数を引用

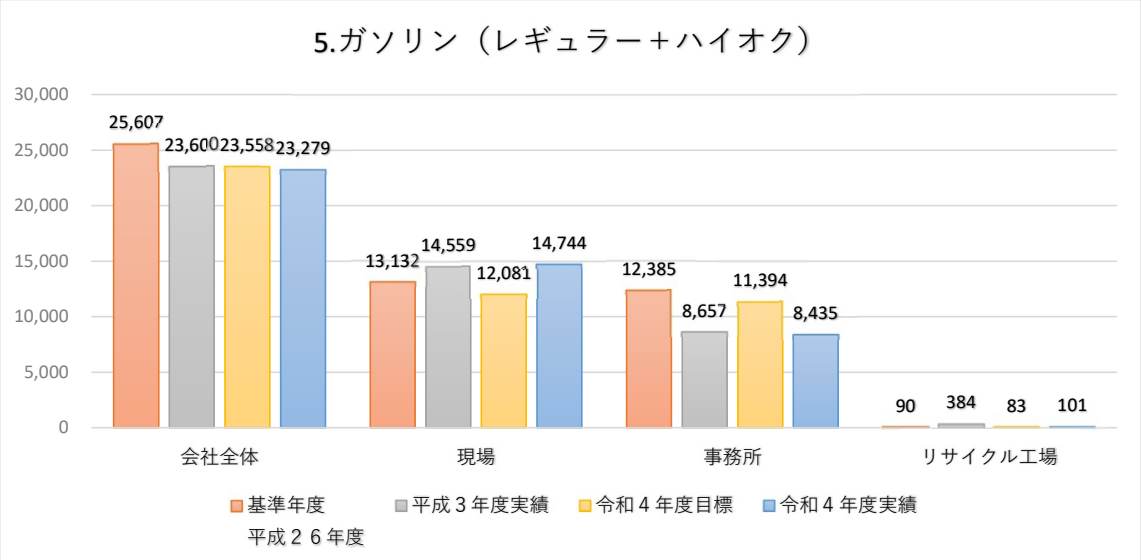
リサイクル工場		年度	平成3年度実績	令和4年度目標	令和4年度(令和4.8.1～令和5.7.31)			達成率
項　目		単位			上半期	下半期	全体	
					8月～1月	2月～7月	8月～7月	
1	二酸化炭素排出量	kg-CO2	165,564	107,991	81,080	85,085	166,165	65.0%
2	完成工事高当たり	kg-CO2/百万円						
3	購入電力	kwh	9,355	3,464	5,072	2,176	7,248	47.8%
4	電力二酸化炭素排出量	kg-CO2	3,658	2,120	2,298	986	3,283	64.6%
5	ガソリン(ガソリン+ハイオク)	L	384	83	23	78	101	82.3%
6	軽油	L	62,280	39,980	30,400	32,478	62,878	63.6%
7	灯油	L	134	304	120	50	170	178.8%
8	紙使用量	枚						
9	水資源投入量	m3						
10	ガス(LPG)	kg						
11	現場排出産廃量	t						
12	一般廃棄物	kg						
13	チップ処理量	t	2,400	4,925	1,248	1,258	2,506	50.9%

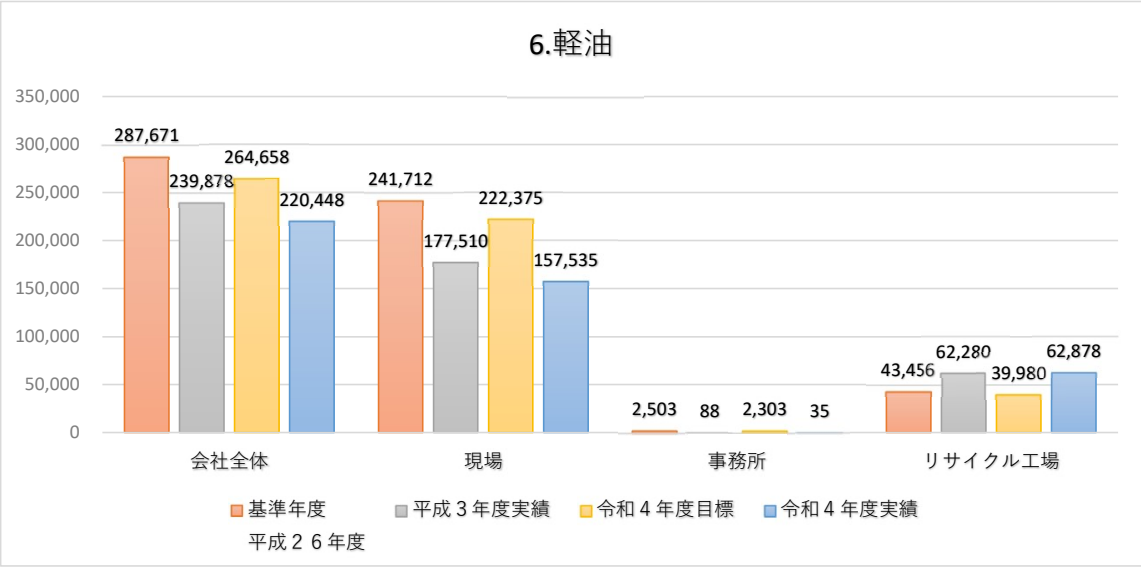

1.二酸化炭素排出量
1,000,000
900,000
800,000
700,000
600,000
500,000
400,000
300,000
200,000
100,000
0
912,124
719,580
839,154
657,720
743,288
526,009
683,825
464,284
51,454
28,007
47,338
27,271
117,382
165,564
107,991
166,165
会社全体
現場
事務所
リサイクル工場
基準年度
平成３年度実績
令和４年度目標
令和４年度実績
平成２６年度

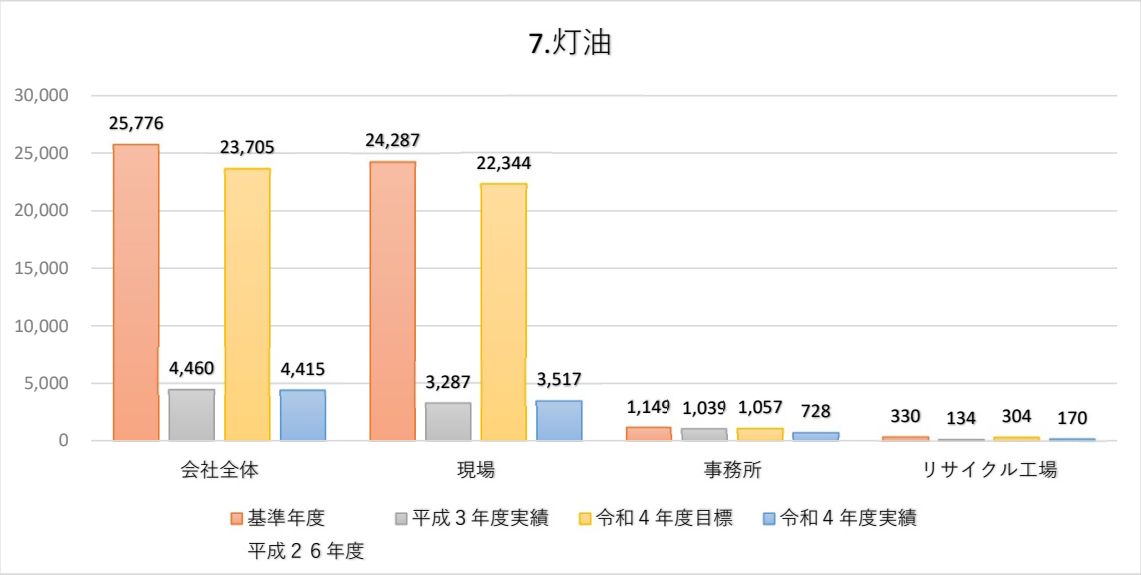

2.完成工事高当たり
900
800
700
600
500
400
300
200
100
0
788
355
725
252
0 0 0 0
0 0 0 0
0 0 0 0
会社全体
現場
事務所
リサイクル工場
基準年度
平成３年度実績
令和４年度目標
令和４年実績
令和元年年度

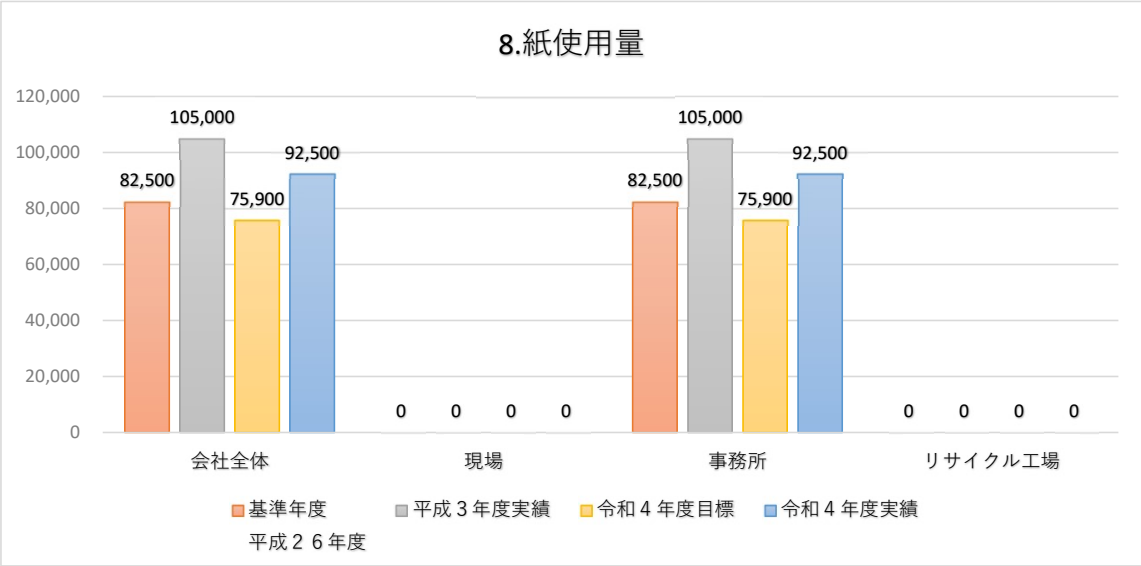

3.購入電力
60,000
50,000
40,000
30,000
20,000
10,000
0
54,643
12,992
19,837
12,765
29,316
9,355
3,464
7,248
21,562
12,992
19,837
12,765
3,765
9,355
3,464
7,248
会社全体
現場
事務所
リサイクル工場
基準年度
平成３年度実績
令和４年度目標
令和４年度実績
平成２６年度

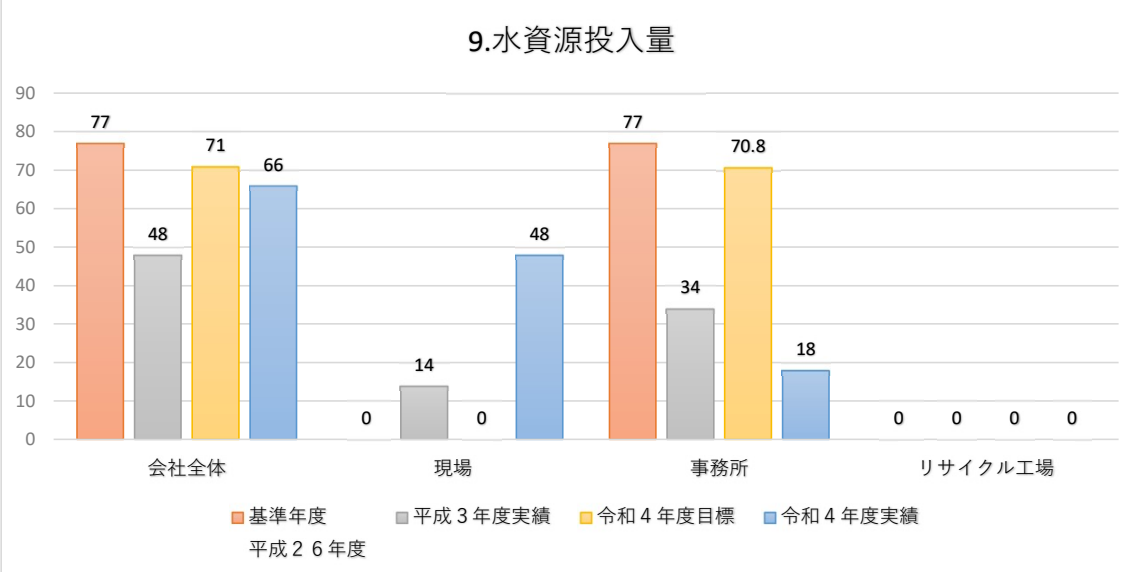

4.電力二酸化炭素排出量
40,000
35,000
30,000
25,000
20,000
15,000
10,000
5,000
0
34,795
34,810
32,012
23,947
19,274
26,072
17,732
14,881
13,217
5,080
12,160
5,783
2,304
3,658
2,120
3,283
会社全体
現場
事務所
リサイクル工場
基準年度
平成３年度実績
令和４年度目標
令和４年度実績
平成２６年度

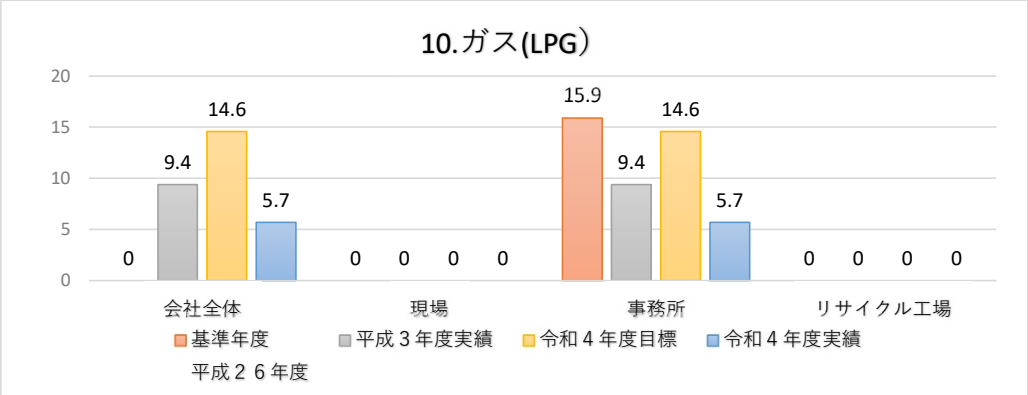

5.ガソリン（レギュラー＋ハイオク）
30,000
25,000
20,000
15,000
10,000
5,000
0
25,607
23,600
23,558
23,279
13,132
14,559
12,081
14,744
12,385
8,657
11,394
8,435
90
384
83
101
会社全体
現場
事務所
リサイクル工場
基準年度
平成３年度実績
令和４年度目標
令和４年度実績
平成２６年度


6.軽油
350,000
300,000
250,000
200,000
150,000
100,000
50,000
0
287,671
239,878
264,658
220,448
241,712
177,510
222,375
157,535
2,503
88
2,303
35
43,456
62,280
39,980
62,878
会社全体
現場
事務所
リサイクル工場
基準年度
平成３年度実績
令和４年度目標
令和４年度実績
平成２６年度

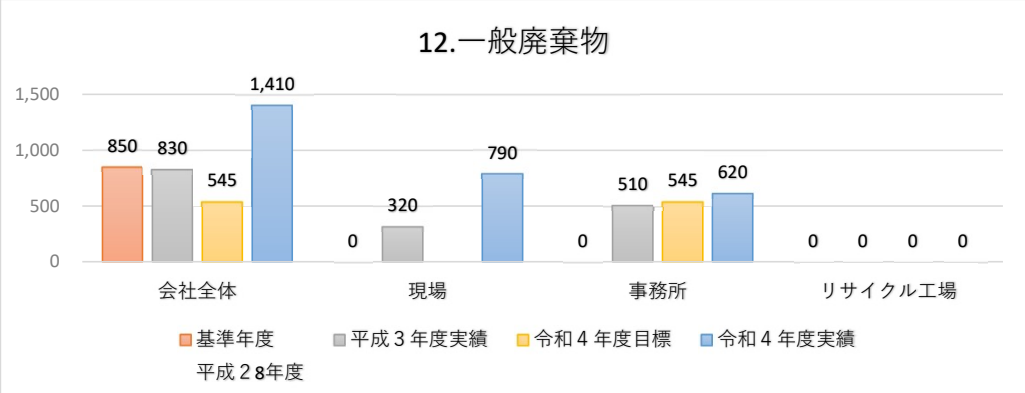

7.灯油
30,000
25,000
20,000
15,000
10,000
5,000
0
25,776
4,460
23,705
4,415
24,287
3,287
22,344
3,517
1,149
1,039
1,057
728
330
134
304
170
会社全体
現場
事務所
リサイクル工場
基準年度 平成２６年度
平成３年度実績
令和４年度目標
令和４年度実績

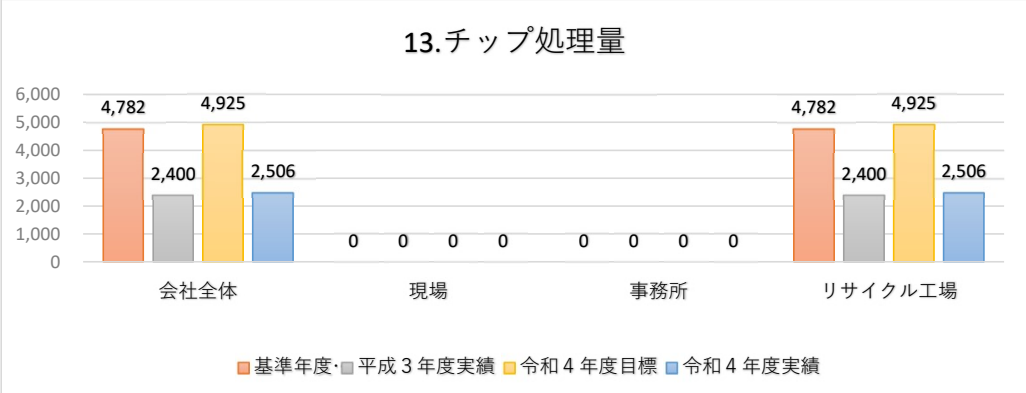

8.紙使用量
120,000
100,000
80,000
60,000
40,000
20,000
0
82,500
105,000
75,900
92,500
0
0
0
0
82,500
105,000
75,900
92,500
0
0
0
0
会社全体
現場
事務所
リサイクル工場
基準年度 平成２６年度
平成３年度実績
令和４年度目標
令和４年度実績


9.水資源投入量
90
80
70
60
50
40
30
20
10
0
77
48
71
66
0
14
0
48
77
34
70.8
18
0
0
0
0
会社全体
現場
事務所
リサイクル工場
基準年度 平成２６年度
平成３年度実績
令和４年度目標
令和４年度実績


10.ガス(LPG)
20
15
10
5
0
0
9.4
14.6
5.7
0 0 0 0
15.9
9.4
14.6
5.7
0 0 0 0
会社全体
現場
事務所
リサイクル工場
基準年度
平成３年度実績
令和４年度目標
令和４年度実績
平成２６年度

11.現場産廃発生量
8,000
6,000
4,000
2,000
0
7468
9.4 14.6 5.7
7468
0 0 0
0 9.4 14.6 5.7
0 0 0 0
会社全体
現場
事務所
リサイクル工場
基準年度
平成３年度実績
令和４年度目標
令和４年度実績
平成２8年度


12.一般廃棄物
1,500
1,000
500
0
850 830 545 1,410
0 320 790
0 510 545 620
0 0 0 0
会社全体
現場
事務所
リサイクル工場
基準年度
平成３年度実績
令和４年度目標
令和４年度実績
平成２8年度


13.チップ処理量
6,000
5,000
4,000
3,000
2,000
1,000
0
4,782 2,400 4,925 2,506
0 0 0 0
0 0 0 0
4,782 2,400 4,925 2,506
会社全体
現場
事務所
リサイクル工場
基準年度･平成３年度実績
令和４年度目標
令和４年度実績

7.　実績評価と今後の取組

◎:達成率110%以上　○:達成率100%以上　△:達成率100%以下　×:達成率90以下

現場 項目		判定	評価コメント	今後の取組
1	二酸化炭素排出量	◎	完工高は大幅に変わっていないが、前年度より排出量削減出来ている。	今後も共通認識で意識して取り組みたい。
2	完成工事高当たり			
3	購入電力	×	基準年度の目標達成はしていないが、購入電力は前年より減っている。	今後も共通認識で意識して取り組みたい。
4	電力二酸化炭素排出量	◎	基準年度の目標達成はしていないが、購入電力は前年より減っている。	今後も共通認識で意識して取り組みたい。
5	ガソリン (ガソリン+ハイオク)	×	前年度と比較して車輌が1台増えたことによる微増ではある。	今後も各車両によるエコ運転に取り組む。
6	軽油	◎	軽油は前年、基準年度よりも削減出来いる。	今後も共通認識で意識して取り組みたい。
7	灯油	◎	基準年度に対しての目標よりかなり減っているが、前年度よりやや増加しているが現場の数等によって違う範囲。	今後も共通認識で意識して取り組みたい。
8	紙使用量			
9	水資源投入量			
10	ガス(LPG)			
11	現場排出産廃量	◎	工事内容によるが削減は出来ている。	今後も共通認識で意識して取り組みたい。
12	一般廃棄物			
13	チップ処理量			

◎:達成率110%以上　○:達成率100%以上　△:達成率100%以下　×:達成率90以下

事務所 項目		判定	評価コメント	今後の取組
1	二酸化炭素排出量	◎	電力と燃料を抑制できたことが目標達成の大きな要因である。	今後とも各項目の消費抑制に努める。
2	完成工事高当たり			
3	購入電力	◎	昨年度に引き続き、時間外での電気・エアコン等の使用が減少しているため、目標達成できた。	引続き、業務終了時や長時間席を離れるときは、パソコン等の電源オフや退室時のエアコンの消し忘れがない用に努める。
4	電力二酸化炭素排出量	◎	購入電力が抑えられたため、電力二酸化炭素排出量も減少となり、目標値の半分以下となった。	引続き一人一人が意識を持ちエコ活動に努める。
5	ガソリン (ガソリン+ハイオク)	◎	前年度比減・目標達成ともに出来ている。	制限速度の厳守やエンジンブレーキ等の省エネに努める。
6	軽油	◎	昨年度軽油車をガソリン車へ変更したため減少した。(代車が軽油だった為数量が上がった)	事務所使用の軽油車がなくなったため、今後は軽油0になると思われる。
7	灯油	◎	前年度比減・目標達成ともに出来ている。	引続き一人一人が意識を持ちエコ活動に努める。
8	紙使用量	×	前年度より減少したものの、前年度に引き続き目標未達成。(現場使用分も含まれるため)	ミスプリントをなくし、裏紙使用・データ保存等を活用する。
9	水資源投入量	◎	前年度比減・目標達成ともに出来ている。	引続き一人一人が意識を持ちエコ活動に努める。
10	ガス(LPG)	◎	昨年に引き続き、お湯を沸かす際にガスを利用していたものを電気ケトル利用になったため減少している。	引き続き一人一人が意識を持ちエコ活動に努める
11	現場排出産廃量			
12	一般廃棄物	×	前年度、目標ともに達成することが出来なかった。工事部の昔の書類等を片付け・整理したため廃棄物の量が増えたと考えられる。	引き続き一人一人が意識を持ちエコ活動に努める
13	チップ処理量			

◎:達成率110%以上　○:達成率100%以上　△:達成率100%以下　×:達成率90以下

リサイクル工場 項目		判定	評価コメント	今後の取組
1	二酸化炭素排出量	×	二酸化炭素排出量は前年比で軽油使用量が増加した為、電力使用量が減少してもが増加となった。目標も震災前が基準となっている為達成できなかった。	例年同様に各項目の抑制に努める。
2	完成工事高当たり			
3	購入電力	×	前年比では、おが粉製造機の稼働が落ちたため電力使用量が減少した。目標は震災前が基準となっている為達成できなかった。	エコ活動に取り組み今後も引き続き抑制に務める。
4	電力二酸化炭素排出量	×	上記の理由により減少したことが考えられる。目標は震災前が基準となっている為達成できなかった。	エコ活動に取り組み今後も引き続き抑制に務める。
5	ガソリン	×	通勤車両1台が他の現場へ出勤している為使用量が減少した。	エンジンカット等を行うなどのエコ運転に取り組み今後も引き続き抑制に務める。
6	軽油	×	前年よりチップの処理量が増加した分使用量が増加したことが考えられる。目標は震災前が基準となっている為達成できなかった。	エンジンカット等を行うなどのエコ運転に取り組み今後も引き続き抑制に務める。
7	灯油	○	使用料は微増であったが目標は達成した。	エコ活動に取り組み今後も引き続き抑制に務める。
8	紙使用量			
9	水資源投入量			
10	ガス(LPG)			
11	現場排出産廃量			
12	一般廃棄物			
13	チップ処理量	×	地震後の復興工事減少により目標には届きませんでしたが去年より100t程増加。受入資材は品質保持向上に努め最終処分場へ搬出する事なく再資源化できた。	今後も、引き続き品質向上に務め再資源化を目指す。

8.　環境関連法令等の遵守状況

建設業に適用される主な環境関連法令等には廃棄法、建設リサイクル法、

騒音規制法、振動規制法等があり、環境法規制を遵守しています。

また、過去3年間にわたり違反、訴訟はありません。

	関係法令名	法令のポイント	対応策、要求事項	チェック	担当者	確認
1	国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）	環境物品等の管理（非使用、基準遵守等）	納入部品の管理	管理台帳	藤本絵津子	○
2	廃棄物処理法	事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正処理しなければならない。 産業廃棄物の運搬、処理は許可を受けた者が実施する。 産業廃棄物の発生から最終処分終了まで、適正に処理がなされるよう必要な措置を講ずる。 多量排出量の適正な管理	1）産業廃棄物マニュフェストの管理	マニュフェスト管理台帳	藤本利香	○
			2）産業廃棄物契約書	契約書の複写（控え）	藤本利香	○
			3）産業廃棄物置場の管理	看板の設置	藤本正生	○
			4）廃棄物処理経路の明確化	マニュフェスト管理台帳	藤本利香	○
			5）廃棄物委託業者への立入調査	現場立入指導	〃	○
			6）排出量の適正な処理	マニュフェスト管理台帳	〃	○
3	建設リサイクル法	資源の有効な利用確保を図るとともに、産業廃棄物の発生の制御、保全に関する為再生資源及び再生物の利用を目的とする。	1）分別解体の徹底	現場立入検査（安全ﾊﾟﾄﾛｰﾙ等で指導） 契約書にて確認	北野	○
			2）廃棄物を種類に応じた施設への適正な搬出			
			3）近隣の再生施設、再利用のための中間施設についての情報の把握			
4	騒音規制法	特定建設作業・適用指定地域等を定めている。	早朝、夜間作業、日曜、祭日の自粛	指導	北野	○
5	振動規制法	特定建設作業・適用指定地域等を定めている。	低騒音、低振動機械の使用遂行	指導	北野	○
6	熊本県産業廃棄物指導要綱	指導要綱に基づいた取扱い	熊本県産業廃棄物指導要綱の管理	指導要綱の最新版	藤本利香	○
7	熊本県生活環境保全条例	条例に基づいた取組	熊本県生活環境保全条例の管理	条例の最新版	藤本利香	○
8	フロン排出抑制法	所有する機器の点検	定期点検の実施	定期点検の実施報告書	大津	○
9	水質汚濁防止法	オイル漏れの点検	異常時の適正処理、事故時の届出	事故報告書	北野	○

※　建設工事における環境関連法規一覧を環境管理責任者がチェック、集約し掲載し、
工事現場は現場毎に把握しています。

令和　5年　9月　1日

9.　代表者による全体の評価と見直し

近年、工事も減り続けてきていますが、会社の実績も落込みも少なく、エコアクションの取組結果も、建設機械・車両の低燃費化と、従業員の環境取組意識が取組が少しづつ成果に現れて来ていると思う。

建設業はエコ取組をしづらい所もあるが、今後も良い所は取入れ、環境への意識の取組と、安全第一で活動に取り組んでいく。

	評　価	見直し・指示
環境経営方針	項目によって削減出来ている所は評価できるが、取組があまり出来てない部分もあるので考えて行くべきところ。	社員への周知徹底の回数を増やして改善をするように。
環境経営目標及び環境経営計画	実施できている部分もあり、毎年取組が出来ていところが一緒なのでどう取り組むか検討。	社員への周知徹底を事務所・現場と連携しながら現場に応じて周知徹底を考えるように。
実施体制	実施体制は確立しているが、うまく機能していないのでどうするのか、環境管理責任者と各部門責任者を交えて検討するように。	各部門担当者は取組・目標を徹底周知し、その頻度を増やす取り組みを行う。

令和　5年　9月　1日

株式会社　藤本建設工業

代表取締役　　藤本　憲成